

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 5月 1日

事業所名 あさがおねっと守口

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	83%	17%	より明確に構造化していく	
	2	職員の配置数は適切である	33%	67%	目が行き届かないときがある	支援員の教育を徹底し、充実した療育ができるようにする
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	キッチンに段差があるが原則ご利用者の立ち入りは禁止としている	危険な場所をつくらないようにする
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	より多くの職員が参画できるよう努める	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	実施している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページで公開しているが職員への周知を行う	保護者向け懇談会実施時に周知を行う
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	業務改善につなげている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	様々な内部外部研修を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	児発管が作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	使用しているが職員全体に周知を行う	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	事業所会議で実施している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	担当者を交代し固定化しないようにしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日・休日で支援計画を設定している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	お子様の状況に応じてサービス計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	役割分担表を毎日作成している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	退勤時間が異なる職員とは書面で共有している	申し送りノートを活用している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	全職員が携わることができるように努める	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	最低半年に1回モニタリングをしている		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインに沿って支援している		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児発管が参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	送迎時や適宜行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	83%	17%	医ケアが必要なお子様はいない。受け入れる際には体制を整える	今後受け入れがあれば、連携出来る体制を整える
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	情報共有を行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	83%	17%	まだ卒業生いない。移行する際には情報共有が出来るようにしている	今後、必要に応じて情報共有を積極的に行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	発達障害者支援センターの訪問研修・助言を受けている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	83%	コロナ禍で出来ない	状況を見ながら交流できる機会を設けていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	67%	33%	守口市に問い合わせしているが返答がなく参加していない	今後は積極的に参画していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	保護者様と日頃からお子様の状態を伝え合っている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%	33%	ペアトレに関する職員の学習会を行っている。全ての保護者様に対して支援が出来るように努める	今後は積極的に保護者に対して支援できるように努める	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎時やお電話等で相談に応じ、助言と支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	33%	67%	年に1回保護者会とイベント時に保護者様の見学を受け入れている	状況を見ながら保護者会再開に向けて前向きに検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	対応窓口を設け迅速に対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月おたよりを発行している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	書類は鍵付きの棚で保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	絵カードやルビ付きの配布物を作成している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%	感染予防を第一に考えている	感染状況を見ながら、前向きに検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	マニュアルを作成しているが職員への周知に努める
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	避難訓練を定期的に行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	職員研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束は行っていないが保護者様に同意書を書いて頂いている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	医師の指示書に基づいて対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット書式を作成している。記録の習慣づけに努める